

八代水俣地域産業保健センターの 地域との連携による活動について

(メンタルヘルス支援事業を通して)

八代水俣地域産業保健センター
コーディネーター 大原友春

■八代水俣地域産業保健センター

熊本県には7つの地域産業保健センターが設置されている。八代水俣地域産業保健センターは、八代市医師会、水俣市芦北郡医師会、八代郡医師会の3医師会からなり、八代市医師会館内に事務局を設置。

■活動範囲

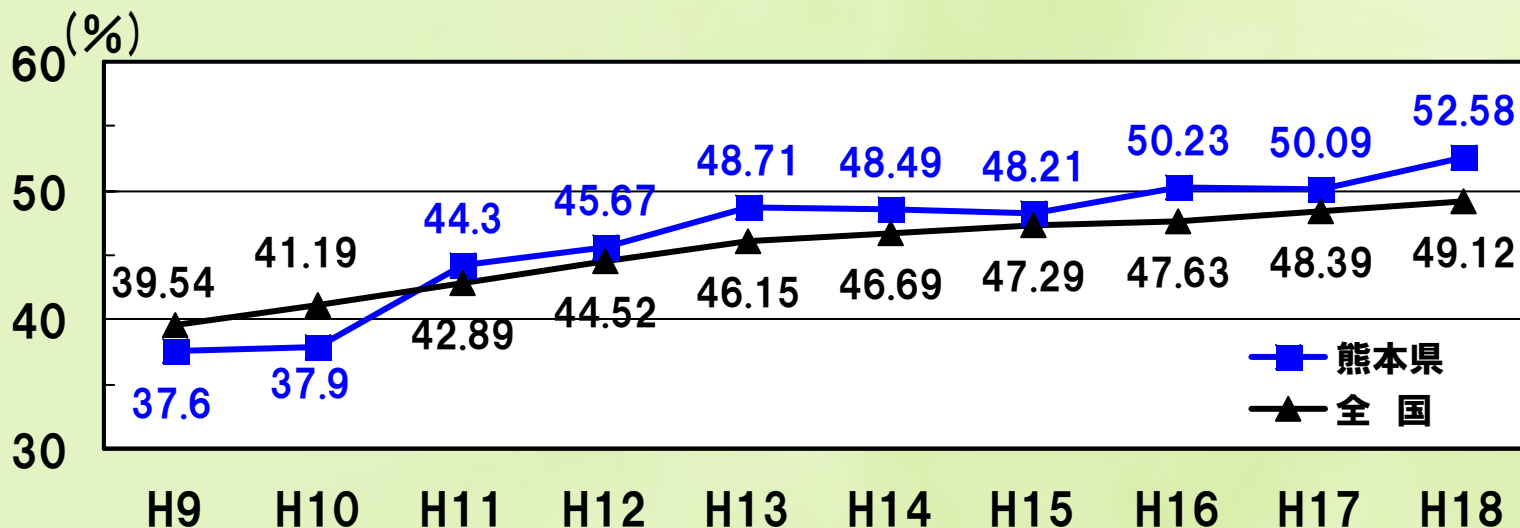
八代労働基準監督署所管域の2市2郡、約1,133km²で、熊本県域の約16%の広い地域をカバーしている。



■担当地区の状況

市郡名	人口(人)	事業場数(所)	従業員数(人)	労働基準協会 加入事業所数
八代市	136,886	6,818	49,721	274
水俣市	29,120	1,497	11,410	65
八代郡	13,232	442	2,343	47
芦北郡	26,264	984	6,703	44
計	205,502	9,741	70,177	430

■定期健康診断有所見率の推移 (全業種 総合)



■八代水俣地域産業保健センターの歴史

昭和61年 八代水俣地区産業保健協議会設立

地区労働衛生相談医制度導入により、中小事業場の
労働衛生の支援をする

平成元年 地区労働衛生相談医制度モデル事業の指定

平成 5年 八代水俣地域産業保健センター設置

モデル事業から20年の歳月を経て今日に至る

地域産業保健センターは、労働者50人未満の事業者と
そこで働く労働者に対し、健康相談窓口の開催等、産業
保健サービスの提供を目的として設置されている

■メンタルヘルスケアセミナー・個別相談会

平成17年、厚生労働省は小規模事業場を中心として「働き盛り層のメンタルヘルスケア支援事業」を立ち上げ、熊本県内では八代水俣地域産業保健センターが指定を受けた。八代労働基準監督署及び県八代保健所、水俣保健所及び当地区7精神科病院の協力を得て事業を推進。

実施年月日	演 題	出席者数
H17. 11. 1	「職場におけるこころのケア」	82名
H18. 1. 19	「職場におけるこころのケア」	76名
H18. 2. 6	「職場のストレスと心の健康障害」	26名
H18. 2. 20	「職場におけるこころのケア」	40名
H18. 5. 57	「女性のメンタルヘルス—うつ病を中心に考えて見る」	134名
H18. 7. 25	「働き盛りのメンタルヘルスケア」	55名
H18. 9. 13	「職場におけるこころのケア」	25名
H18. 11. 17	「働き盛りのメンタルヘルスケア」	58名
H19. 1. 25	「職場におけるこころのケア」	75名
H19. 2. 9	「女性のメンタルヘルス—うつ病を中心に考えて見る」	270名
H19. 3. 22	「働き盛りのメンタルヘルスケア」	30名

実施年月日	演 題	出席者数
H19. 6. 28	(午前)「職場と家庭でのメンタルケア」	106名
	(午後)「職場と家庭でのメンタルケア」	96名
H19. 9. 21	「働き盛りのメンタルヘルスケア」	81名
H19. 10. 6	「働き盛りの勤労者の心の健康」	55名
H19. 12. 3	「心の健康管理」	113名
H20. 1. 18	「職場における心のケア」	71名
H20. 2. 1	「メンタルヘルスケア」	65名
H20. 6. 5	「職場における心のケア」－管理者として－	43名
H20. 8. 6	「働き盛りのメンタルヘルスケア」	33名
H20. 10. 23	「職場におけるメンタルヘルス」	80名

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
4回実施	7回実施	7回実施	3回実施(現在まで)

個別相談会

相談対象 \ 年度	H17	H18	H19	H20
自分自身について	2件	6件	2件	2件
部下または同僚について	1件	7件	2件	3件
家族について	3件	1件	3件	1件

■自分自身について

- ・睡眠が充分にとれない
- ・心療内科で治療中だが、その治療法と薬について
- ・うつで休職後、復帰したが症状再燃、辞めるべきか
- ・仕事が気になって、眠れない

■部下または同僚について

- ・長期休職中の職員に対する職場側の対応について
- ・上司とのかかわりについて
- ・頭痛があるといって仕事を休む社員について
- ・うつで入社拒否の社員について
- ・アルコール依存症で入社しない社員について
- ・精神科で治療中の職員について

■家族について

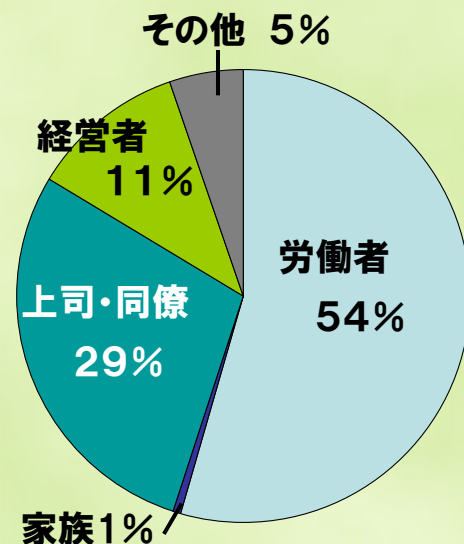
- ・独居の親について
- ・病気の家族について相談窓口の利用のしかた
- ・認知症の親への対応のしかた
- ・高齢の親について、徘徊、暴力がでてきた
- ・ひきこもりの家族について
- ・家族の薬害賠償について



働き盛り層のメンタルヘルスセミナーアンケート結果

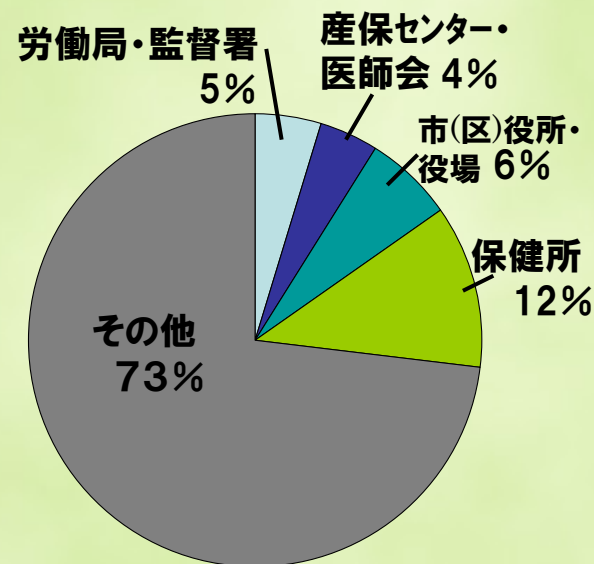
Q1 あなたのお立場は次のどれに当たりますか。

回答	年代						計
	20 ~29	30 ~39	40 ~49	50 ~59	60 ~69	70~	
1)労働者	6	19	40	36	2		103
2)家族					1		1
3)上司・同僚	1	8	13	29		3	54
4)経営者		3	4	9	4	1	21
5)その他	1	1	1	2	4	1	10
計	8	31	58	76	11	5	189



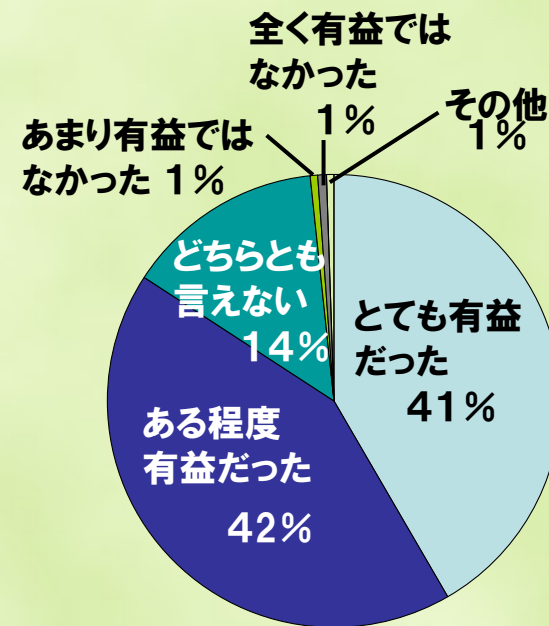
Q2 このセミナーをどこで知りましたか。

回答	年代						計
	20 ~29	30 ~39	40 ~49	50 ~59	60 ~69	70~	
1)労働局・監督署	1	1	3	4			9
2)産保センター・医師会		1	1	5		1	8
3)市(区)役所・役場		1	2	5	4		12
4)保健所	4	5	6	4	3		22
5)その他	3	23	45	58	4	4	138
計	8	31	58	76	11	5	189



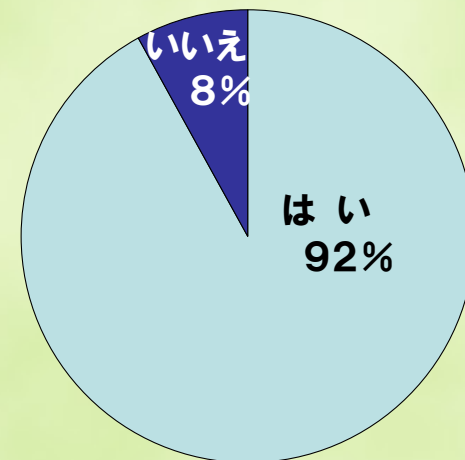
Q3 本日のセミナーは役立ったと思いますか。

回答	年代							計
	20 ~29	30 ~39	40 ~49	50 ~59	60 ~69	70~		
1)とても有益だった	3	11	22	33	6	4	79	
2)ある程度有益だった	2	12	30	30	5	1	80	
3)どちらとも言えない	2	7	5	13			27	
4)あまり有益ではなかった		1					1	
5)全く有益ではなかった	1						1	
6)その他			1				1	
計	8	31	58	76	11	5	189	



Q4 今後もこのようなセミナーがあれば参加しますか

回答	年代							計
	20 ~29	30 ~39	40 ~49	50 ~59	60 ~69	70~		
1)はい	6	29	52	71	11	5	174	
2)いいえ	2	2	6	5			15	
計	8	31	58	76	11	5	189	



Q3で、1) とても有益だった、2) ある程度有益だった を選んだ方へ、
どのような点が有益でしたか。(抜粋)

- ・うつになったときの早期発見につながる
- ・うつの内容が理解できた
- ・管理者の接し方等、具体的だった点がよかった
- ・うつの方との接し方がよくわからないでいたので、参考になった
- ・うつ病のことを初めて知り得た事
- ・従業員の状態を見る目安になる
- ・うつに対する誤解があったが、少し理解が進んだ
- ・職場環境の大切さを感じた
- ・社員の心の健康状態のチェックがしやすくなった
- ・自分もうつではないかと感じていたが、自分がうつであるか、
ないかの判断がつく様になった

■八代水俣地域・職域連携推進の取り組み

平成18年度に地域職域連絡会議として八代水俣両保健所ごと（二次医療圏単位）に立ち上げ

（参加機関）八代労働基準監督所

八代水俣地域産業保健センター

社会保険事務局

八代 水俣 芦北医師会

国保連合会

国保水俣総合医療センター

八代総合病院健康管理センター

企業の安全衛生担当

各市町（国保、衛生担当）

八代水俣の各保健所ごとに研究会や意見交換を
年1回開催

平成20年度から始まった特定健診、特定保健指導等の新たな健診制度の完全実施にむけ、関係機関も一生懸命で地域職域の連携の構築が遅れている。

地域職域のより深い連携の課題として

- 1. 年に4回程度の研修会、交換会が必要**
- 2. 担当者、実務者による意見交換会やワーキンググループの立ち上げが必要**
- 3. 職域から地域へと生涯を通しての保健サービスを提供されることの共通認識を深める協力体制を立ち上げる**
- 4. 地域の特性に応じた協力による健康管理体制を立ち上げる**

■八代水俣地域における連携事業の必要性

今後は、積極的な情報交換・支援協力が得られるようになれば、私共職域保健を担当する者として、大変に効果的な効率の良い職域の健康づくり推進のお手伝いが出来るものと期待をいたしております。